



がん検診（はじめに）



生活習慣病検診

検診項目は

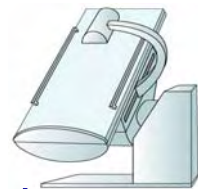
- ・診察
- ・血圧測定尿検査
- ・貧血検査
- ・眼底検査
- ・糖尿病の検査
- ・心電図
- ・コレステロールなどの血液検査（貧血も含む）などかなりの数になります。



高血圧や糖尿病は長期間無症状です。検診を受けてはじめて高血圧やコレステロールが高いことが判る

場合がありその時には、治療を始めて脳卒中や心筋梗塞などを予防することが可能です。

がん検診



04年のがんによる死者は32万人

厚生労働省が発表した04年の人口動態統計概数によると

がんによる死亡者は32万0315人！

32万人を超えたのは初めて。

がん検診による早期発見

がんの1～2.5割はがん検診で発見されます。何か症状があり、病院や医院で見つかるがんと比較すれば検診で発見されるがんは当然早期がんが多いと考えられます。



こんなシグナルには要注意

肺がん

咳が続いたり、たんに血が混じることがないか？



胃がん

最近、「胸焼けがする」、「胃がもたれる」など胃の調子が悪くないか？



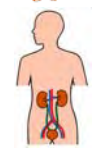
大腸がん

便秘と下痢を繰り返していないか？便に血液や粘液が混じっていないか？



腎・膀胱・前立腺がん

尿の出が悪かったり、尿に血が混じったりしないか？



乳がん

乳房の中にしこりはないか？乳首が左右どちらかに引っ張られていないか？



がん検診が変わりました

乳がん検診

これまで・・・

- ・30才以上49才未満
医師による視触診
- ・50才以上
マンモグラフィと視触診を併用
- ・毎年受診



あたらしい指針

- ・40才以上
マンモグラフィを原則として
医師の視触診を併用・2年に1度の受診



子宮がん検診

これまで・・・

- ・30才以上に頸癌検診を実施



あたらしい指針

- ・20才以上に頸癌検診を実施（初回妊娠時に実施）
- ・2年に1度の受診

ただし、がんがあっても症状のない人の方が、圧倒的に多いのです！

